

## 「健康スコアリングレポート」の開示

「健康スコアリングレポート」は、各健保組合の加入者の健康状態、医療費、予防・健康づくりへの取組状況等について、全健保組合平均や業態平均と比較したデータの経年変化を見える化したもので、政府の『未来投資戦略 2017』を受け、厚生労働省・経済産業省・日本健康会議が連携して、2018年度より各健保組合に通知しています。

今般、当組合に通知された「健康スコアリングレポート」を開示します。

※当組合では、当該レポートに基づく健康課題や取組状況を事業主と共有し、効果的な対策の立案・実施に活用します。

## &lt;当組合あて「健康スコアリングレポート」の概要&gt;

(2019年度の実績値による)

項目	全健保組合との比較結果	備考
特定健診(※1)の実施率	良 好	厚労省の目標値「90%」を3年連続達成
特定保健指導(※2)の実施率	概ね良 好	厚労省の目標値「55%」を3年連続未達(※3)
生活習慣病リスク保有者の割合	良 好	脂質：微増(悪化) 肥満・肝機能：変動なし 血圧・血糖リスク：下降(改善)
適正な生活習慣を有する者の割合	良 好	喫煙・運動・飲酒：最上位ランク 食事・睡眠：上位40%内ランク
一人当たり医療費 (総医療費を組合の加入者数で除した値)	中央値と同程度	前年より8,024円上昇

- ※1. 死亡原因の約6割を占める生活習慣病の予防のために、40歳から74歳までの方を対象に、メタボリックシンドロームに着目した健診(腹囲、血糖値、血圧等。当健保では、事業主の実施する定期健診と同時に実施)です。
- ※2. 上記「特定健診」の結果、腹囲や血圧等の数値が一定の基準を超過する者に対して行われる医師、保健師等による生活習慣改善のための支援です。
- ※3. 当組合の実施率(51.7%)は、単一健保組合平均率(34.4%)を上回ったため、「概ね良好」とされていますが、厚労省の目標値(55%)を下回っており、実施率の向上に取り組む必要があります。

以上